

反核・反原発 沖縄基地撤去 みんなで日本を変えよう

やはり“全部ウソだった”

4月12日、菅首相は「一步一步安定に向かっており、放射性物質の放出も減少傾向にある」と言った。しかし福島第一原発は「再臨界」（核分裂）を起こしているとも言われており、予断を許さない情勢が続いている。1～2ヶ月位で放射能や熱がおさまるものではない。政府や東電は、いまだにウソをついている！

日本経団連の米倉会長は、「東電の努力には頭が下がる」「東電の技術力の高さ、モラルの高さは世界最高」（4/11）と発言した。財界のトップがここまで言い切るとは、もう本当に、絶対に許せない！

破局をくい止めようと、被曝労働を強いられながら事故現場で労働者が闘っている。農民や漁民は、農地や漁場に放射能をまき散らされ、生活の糧を奪われてしまった。半径20㎞、30㎞の住民が故郷を奪われた。政府や東電・財界は、この怒りと悲しみをどう思っているのか！

あくまで「原発推進」の菅

ところが菅政権は、原発をあくまで推進し、輸出までしようとしている。「原発の安全性を求めるとともに、クリーンエネルギーに積極的に取り組んでいく」「今の段階で停止させなければいけないとは思っていない」（菅首相、4/12）。「柏崎刈羽原発の3号機の運転を再開したい」（東電社長、4/13）。冗談じゃない！

国会の参議院では3月31日、日本からヨルダンに原子力技術を輸出するための協定を可決した。ベトナムの受注はすでに決まっており、トルコ、インドなどへも拡大しようとしている。このデタラメさを絶対に許してはならない。



杉並・高円寺で1万5000人の反原発デモが行われた(4/10)

直ちに停止し全廃せよ！

原発大事故とその災害の全責任は、菅政権をはじめ歴代の政府、東電と財界、そして原発を推進してきた御用学者や御用労組にある。彼らにその責任をとらせなければならない。

原発は核兵器とともに、きわめて非人間的で、人類に対してとてつもない害悪をもたらす。体内被曝の恐ろしさは計り知れない。放射能汚染の中では生きられない。みんなの力ですべての原発を廃炉にしよう！ エジプトのように闘い、みんなで日本を変えよう！

普天間撤去、新基地阻止へ！

そして、今こそ戦争への道に反対して立ち上がろう。震災を口実に、日米軍事同盟による「有事体制」が本格的に発動された。米軍の「オトモダチ作戦」は、日米で「朝鮮有事」体制をつくるものだった。

この中で、沖縄・普天間基地が強化され、新基地建設の強行と、沖縄闘争の圧殺が狙われている。原発も普天間も直ちになくすべきだ。日米安保なんかいらない！ 辺野古新基地建設を阻止し、沖縄からすべての基地を撤去しよう！

斎藤文男さん 九州大学名誉教授。専門は憲法、行政法など。元福岡放送ニュースコメンテーター。ゆっくりとした、しかし切れ味のある語り口で聴衆を惹きつける。

「4.28 沖縄デー」 1952年4月28日、サンフランシスコ対日講和条約が発効し、沖縄は日本から分離され、アメリカの施政下におかれた。以来、「4.28」は「沖縄デー」として、沖縄本土の労働者民衆の反戦反安保闘争の原点となり、ストやデモが闘われてきた。